

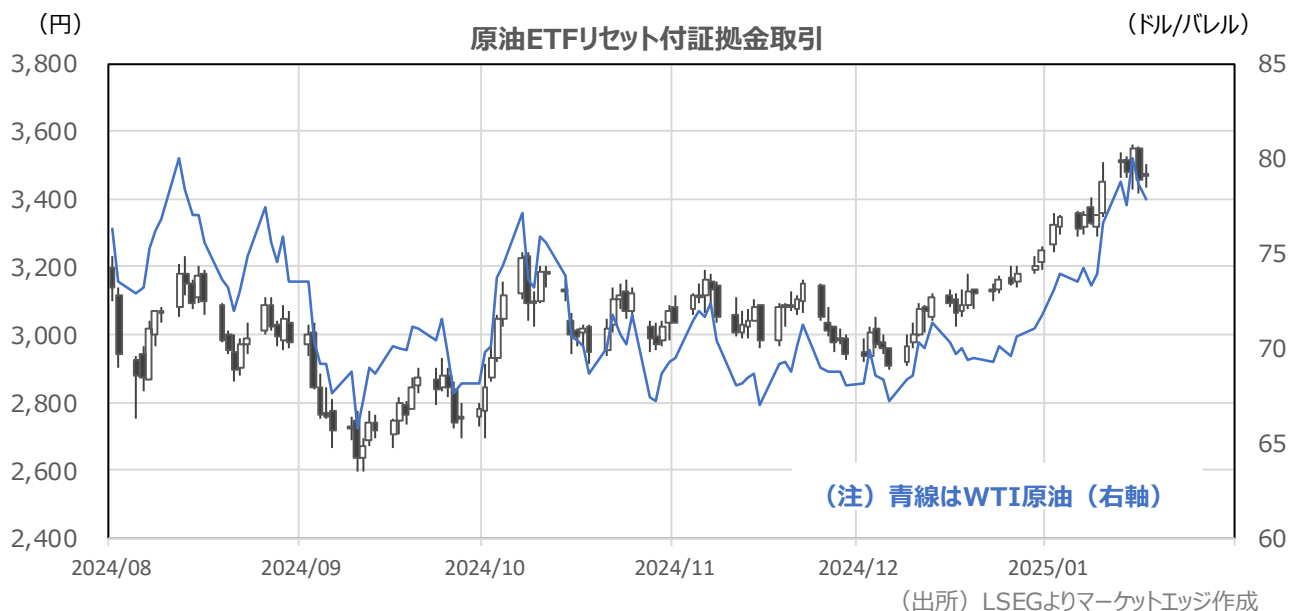
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/01/20号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



一時80ドル台乗せ、寒波と原油流通に混乱

NY原油先物相場は、1バレル=80.77ドルまで上昇して昨年7月19日以来の高値を更新した後、77ドル台後半まで上げ幅を削る展開になった。1月10日にバイデン米政権が対ロシア追加制裁を発表したことで、原油流通環境に混乱が生じるリスクが警戒された。引き続き北半球の寒波による需要拡大、供給障害のリスクも、原油相場を支援している。米原油在庫水準の低さもあり、期近限月を中心に底固い展開が維持された。ただし、80ドル台では利食い売りを進める動きも強く、週末にかけては上げ幅を削る展開になった。

国際エネルギー機関（IEA）が1月15日に発表した月報では、米国の対ロシア追加制裁が原油供給の流れに影響を与える可能性が指摘された。ロシア石油2社、「影の船団」160隻が追加制裁の対象になったが、二次制裁のリスクから一部業者がロシア産に加えてイラン産原油の取引を縮小し、中東や南米産原油の調達量を増やしている。輸送コストの増大など、原油流通に混乱が生じている。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（1月10日時点）は、原油が前週比196万バレル減、ガソリン585万バレル増、石油精製品が308万バレル増となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

原油フローの混乱警戒で底固い、80ドルを巡る攻防に

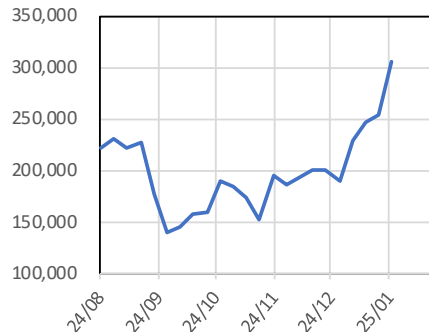
原油流通環境の混乱が警戒され、短期上振れリスクが残される。米国の対ロシア制裁によって、特にアジア地区の原油調達環境が大きく変化していることが、原油相場を下支えしよう。また、1月20日に米国ではトランプ新政権がスタートする。そこでイランに対する経済制裁への警戒感を一段と高めよう。そのような動きがみられると、82ドル水準まで更に上値を切り上げるリスクがある。厳しい寒波による需要拡大、供給減少のリスク織り込みも求められる。

特に米原油在庫の取り崩しが続くと、期近限月主導の上昇地合が支持されやすくなる。これまで低在庫環境はほとんど材料視されていなかったが。経済制裁と寒波によって世界の原油供給の不確実性が増す中、低在庫環境に対する警戒感も高まり始めている。

ただし、あくまでも原油調達先の切り替えに伴う一時的な混乱状況との評価であり、すでに期近限月に対するプレミアム加算の動きにはブレーキが掛り始めている。国際エネルギー機関（IEA）も、石油輸出国機構（OPEC）プラス以外の増産圧力、OPECプラスが必要に応じて減産を縮小することが可能なため、需要拡大には対応することが可能との見通しを示している。また、ロシアも経済制裁の影響を受けない価格水準であれば、「影の船団」以外でも通常の輸出が可能な状態にある。

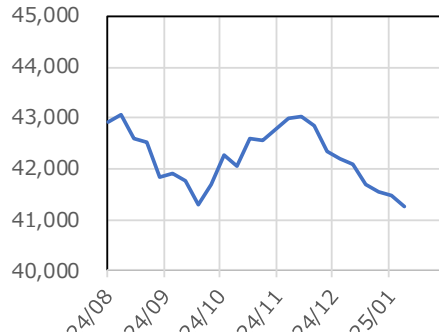
80ドル台での取引時間を増やすことが打診される局面だが、時間の経過とともに原油流通を巡る混乱は収束に向かい、原油相場も高値限界を再確認する方向性になろう。北半球の寒波が終息に向かう予報が出た際には、調整リスクが高まる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



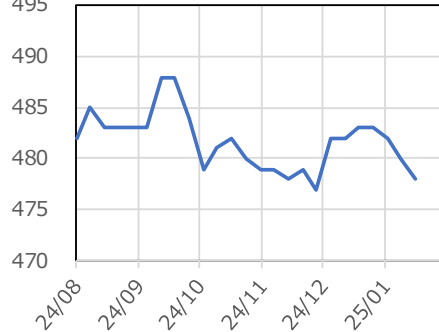
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL：03-6661-9498 【E-mail】 info@marketedge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで

